

題材名 オペラの魅力

1、指導内容

学習指導要領 第2学年及び第3学年 [B鑑賞ア・エ] の指導事項から設定する。

2、教材

歌劇「アイダ」より 第2幕 第2場 ヴェルデイ作曲

3、指導目標と評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
題材の目標	(1)声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりに関心を持つ。。	(2)声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりを感じ取る。	(3)声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりを意識して楽曲全体を味わって聴く。
題材の評価規準	声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりに関心を持って聴くことに意欲的である。。	声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりを感じ取っている。	声とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さ、音楽と他の芸術とのかかわりを意識して楽曲全体を味わって聴いている。
学習活動の評価動機	さまざまな歌唱形態とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現力の多様さに関心を持って聴いている。	さまざまな歌唱形態とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現の多様さを感じ取っている。	さまざまな歌唱形態とオーケストラが生み出す響きや演奏者の表現の多様さを意識して楽曲全体を聴いている。
評価規準における	音楽が文学、演劇、舞踊、美術などのほかの芸術とどのように結びついているのかに関心を持っている。	音楽が文学、演劇、舞踊、美術などの他の芸術とどのように結びついているのかを感じ取っている。	音楽が文学、演劇、舞踊、美術などの他の芸術とどのように結びついているのかを理解して楽曲全体を聴いている。

4 , 指導と評価の計画(2 時間)

時間	ねらい・学習活動	題材の評価規 準との関連	評価方法等
1	<p>オペラの演奏形態や演奏者の表現に関心を持ち、第 2 幕、第 2 場の勝利の行進の場면을鑑賞する。</p> <p>1 , ラダメスの独唱場面の一部を鑑賞し、オペラの形態の概要をつかむ。</p> <p>2 , 「アイーダ」のストーリーの概略を聴き、第 2 幕第 2 場の場面の状況をつかむ。</p> <p>3 , 勝利の行進の場면을鑑賞し、歌唱形態や演奏者の表現の仕方について、気づいたことをお互いに発表し合う。</p> <p>4 , オーケストラの演奏がその場面に与えている効果について、感じたことをお互いに発表し合う。</p>	<p>観点 1</p> <p>観点 2 -</p>	<p>< 観察 ></p> <p>(発言内容や挙手による確認)</p> <p>(学習シートへの記入の状況)</p> <p>< 学習シート ></p> <p>(学習シートへの記入)</p> <p>(発言内容の観察)</p>
2	<p>音楽とほかの芸術との関わりに関心を持ち、第 2 幕第 2 場を鑑賞する。</p> <p>1 , 勝利の行進の場면을演劇、舞踊、美術とのかかわりを意識して鑑賞する。</p> <p>2、演劇、舞踊、美術それぞれとのかかわりが感じ取れた場面をあげ、音楽とかかわりについて、気づいたことをお互いに発表し合う。</p> <p>3 , 発表をもとにして、ほかの芸術とのかかわりが明らかになる場면을 LD で見ながら確認する。</p>	<p>観点 1 -</p> <p>観点 2 -</p>	<p>< 観察 ></p> <p>(発言内容や挙手による確認)</p> <p>(学習シートへの記入の状況)</p> <p>< 学習シート ></p> <p>(学習シートへの記入)</p> <p>(発言内容の観察)</p>

3	<p>声とオーケストラが生み出す響き 他の芸術とのかかわりを意識して 楽曲全体を鑑賞する。</p> <p>1 , 第 2 幕第 2 場全体を通して聴き 学習シートに本題材で学んだこ とを振り返るとともに、学習内 容を生かした批評文を書く。</p> <p>2 , 音楽とほかの芸術との関わりの 関連教材として,ミュージカル 「キャッツ」の一部分と歌舞伎「勸 進帳」の一部分を鑑賞する。</p>	<p>観点 4 - 観点 4 -</p>	<p>< 観察 > (学習シートへの記入の 状況)</p> <p>< 学習シート > (学習シートへの記入)</p>
---	---	--------------------------	--